令和８年度　第７回理事会

日　時：令和８年 10 月９日（金）15:30～

場　所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室

Ⅰ．報　告

１．コンプライアンス推進の取組状況［法令遵守担当理事］

２．業務実施体制等検討チームにおける検討状況の報告［総合調整室］

３．創立記念式典及び令和８年度理事長賞受賞者の決定等について［総務部］

４．特定任期付職員から常勤職員（一般職員）への選考採用を行う場合の取扱いについて（非公表）［総務部］

５．令和８年度第２四半期までの保険料収入及び保険金支払額（暫定値）について（非公表）［森林保険センター］

６．令和８年度第２回森林保険センター統合リスク管理委員会審議概要について（非公表）［森林保険センター］

７．災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について［森林保険センター］

Ⅱ．その他

１．今後の主な会議・行事予定について

２．主要行事

３．森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

Ⅰ-1

理　事　会　資　料
令和　８年１０月　９日
法 令 遵 守 担 当 理 事

令和８年度コンプライアンス推進の取組状況

１．上期の取組状況

本年度はコンプライアンス推進取組方針を部門共通の３項目※および各部門における独自の取組として設定し、部門毎の年間取組計画に基づき進めており、概ね計画どおりに実施している。

※１．コンプライアンスへの意識の向上、浸透、強化　２．風通しの良い職場づくり　３．ハラスメント等の未然防止

（１）部門共通の主な取組

・コンプライアンス意識調査（研究所等）、自己診断（整備）、理解度テスト（保険）を、７月から９月の期間にそれぞれ実施し、整備センターは結果を役職員にフィードバックした。（研究所等：結果集計中、整備：4.51（4.49）、保険：84.8%（77.1%））

・コンプライアンス意識の浸透の取組として標語の募集を行い、各部門で優秀標語を決定、当年度の標語として情宣した。
なお、各部門の優秀標語９件を国研協コンプライアンス専門部会の標語募集に応募した結果、機構の標語【「おかしい」が言える職場に不正なし】が 12 月のコンプライアンス推進月間の統一スローガンに選出された。

・各種研修においては、各部門とも年間取組計画に従いほぼ計画どおり実施済み。

（２）部門別の主な取組

・研究所等において、国研協コンプライアンス専門部会における部会長及び事務局として部会の運営を行った。具体的には参加法人との情報共有や好取組の紹介、共通課題についての意見交換等により専門部会の今後の施策や取組方針を検討した。

・森林整備センターにおいて、全管理職を対象とした外部講師によるコンプライアンス研修を対面で実施した（5 月）。また、当日の録画映像を用いて全職員が受講した。更に、本年度は他部門の職員もＷＥＢ参加および録画映像視聴可としたことで、多くの職員の学びの機会となった。

・森林保険センターにおいて、風通しの良い職場環境づくりの一環として、所長が全職員（休職者除く）計 39 名と１対１の面談を実施した（6 月）。

２．下期の取組予定

各部門の業務特性に応じたコンプライアンス研修や情報セキュリティ研修等の実施によりコンプライアンス意識の向上を図ると共に、公益通報窓口や苦情相談窓口等の適切な利用の促進に向けた周知を継続する。

（１）部門共通の主な取組

・コンプライアンス意識調査・自己診断等の結果を踏まえ、改善すべき課題を明確化し、今後の研修メニューへの反映等に活用する。

・ハラスメントに関する実態調査アンケートを実施し、結果を分析して今後の職場環境改善に向けた取り組みに活用する。なお、本年度から各部門共通の設問としたことで、機構全体の傾向も把握することが可能となった。

・国研協との連携では、12 月の「コンプライアンス推進月間」の取り組みとして、国研協統一スローガン（標語）の周知と、各部門において決定した標語の積極的活用、コンプライアンス研修の実施、コンプライアンス推進に向けた役員メッセージの発信等を実施する。

（２）部門別の主な取組

・研究所等は、今年度、３年ぶりとなる「職員倫理研修」を実施し、法人職員として責任ある行動について理解を深める。
また、国研協コンプライアンス専門部会の部会長及び事務局として部会の運営を継続する。

・森林整備センターは、ハラスメント防止対策の一環として、応用コミュニケーション研修を実施する。
また、昨年度未受講者に対し、カスタマーハラスメント対応研修を実施する。

・森林保険センターは、風通しの良い職場環境づくりにおける職場環境実態把握アンケートを実施（10 月）し、そのアンケート結果を踏まえたテーマによる意見交換会（12 月）を開催し良好な職場環境づくりに努める。

３．公益通報処理の実績　＊9 月末時点

森林総合研究所等　０件（その他の案件　１件）
森林整備センター　０件
森林保険センター　０件

以上

【別紙】令和８年度　部門毎の施策概要（予定）

	機構　※【主催】		森林総合研究所等		森林整備センター		森林保険センター	
	取組内容	実施	取組内容	実施	取組内容	実施	取組内容	実施
４月	コンプライアンス研修（新規採用職員）【研究所】	済			情報セキュリティ研修・コンプライアンス研修（新規採用職員）	済	コンプライアンスに関するオリエンテーション（異動者等）	済
５月	コンプライアンス推進に向けた標語の募集 外部講師によるコンプライアンス研修（管理職・動画視聴含む）【整備Ｃ】	済						
６月			公的研究費等に関するコンプライアンス教育研修 第１回情報セキュリティ教育研修	済	情報セキュリティ研修・コンプライアンス研修（新任管理職） 標的型メール訓練	済	所長による全職員（休職者除く）計39名と１対１の面談を実施 職場環境実態把握アンケート	済 10月
７月			コンプライアンス意識調査	済	コンプライアンス自己診断	済	コンプライアンスに関する理解度テスト	済
８月					カスタマーハラスメント研修（８月～１月）	8/4～	情報セキュリティ研修（eラーニング） 各課室での意見交換	済 12月
９月					情報セキュリティ研修・自己点検（９～10月）	未	情報セキュリティインシデント訓練 カスタマーハラスメント対応方針等の策定	済
10月	ハラスメント実態把握アンケート調査（設問共通化） 発注者網紀保持に関する研修【研究所】 カスハラ対応方針等の施行（カスハラ防止規程、カスハラ対応方針、求職者等に対するセクハラ防止規程）	10月 10/28 10/1	研究倫理研修会等 第２回情報セキュリティ教育研修	10/23 10/26	応用コミュニケーション研修（10月～２月）	10月～2月		
11月					情報セキュリティインシデント訓練	未	情報セキュリティ研修（自己点検）	未
12月	国研協・コンプライアンス推進月間 コンプライアンス（職員倫理）研修【研究所】	12月 12/18	相談窓口業務対応スキル向上のための研修	未	コンプライアンス研修（eラーニング）	未	コンプライアンスに関する意識調査 各室課での意見交換	未 未
１月	ハラスメントに関するコンプライアンス研修 【研究所】			未				
２月	個人情報保護に関する研修【研究所】	未	コンプライアンス推進委員会	未	コンプライアンス推進委員会	2/17	コンプライアンス推進委員会	2/17
３月	コンプライアンス合同報告会	未						
通年	各種窓口（公益通報・苦情相談）の周知 （会議、グループウェア、執務室内にピラを掲示等）		各種窓口（研究不正告発）の周知		職場毎のディスカッション 公益通報や苦情相談窓口に係る実践的な模擬訓練の実施 カスタマーハラスメント対応マニュアルの周知 出・退勤時の挨拶の励行等 地域貢献活動の取組		公益通報や苦情相談窓口に係る実践的な模擬訓練の実施	

Ⅰ-2

理　事　会　資　料

令和８年 10 月９日

総　合　調　整　室

業務実施体制等検討チームにおける検討状況の報告

１．背景

昨年度に策定された第６期中長期計画では、「第５　その他業務運営に関する重要事項」－「２　業務実施体制の見直し」として、「本部機能の強化や管理業務の集約化に向けた検討及び条件整備などを進める」とされるとともに、人材の確保・育成や情報セキュリティ対策の強化にも努めることとされた。

これを踏まえて、昨年度末に、機構に「業務実施体制等検討チーム」（メンバー：研究所総括審議役、育種Ｃ審議役、整備Ｃ総括審議役、保険Ｃ総括審議役）を設置し、その下に、「人材確保・育成等」、「本部機能・体制等」、「情報システム等」の各ワーキング・グループ（以下、ＷＧ）を設置して、具体的な検討を進めることとした。

２．これまでの検討状況

（１）検討チームの開催

４月 10 日、８月７日、９月４日に、業務実施体制等検討チームを開催して、ＷＧにおける検討の進め方について審議した。

具体的には、昨年度末に整理した各ＷＧの検討項目のうち、

・人材確保・育成等ＷＧは、採用事務の共同実施、各種研修の共同実施

・本部機能・体制等ＷＧは、本部機能の整理

・情報システム等ＷＧは情報基盤システム、WEB 公開システム、財務会計システムを優先検討事項として、年度内を目途に、一定の結論を得られるように努めることとした。

（２）ＷＧの開催

（ア）人材確保・育成等ＷＧ、本部機能・体制等ＷＧ

９月 15 日に、両ＷＧの合同会議を開催して、今後の検討の進め方とスケジュールを確認した上で、具体的な検討の開始を指示した（※現在、各担当で作業中）。

具体的な検討事項は、以下の通り。

①採用事務の共同実施

令和 10 年度の一般職員新規採用に向けて、４組織による一般職員採用事務の共

同実施について検討を進める。また、研究所と育種Ｃによる一括採用を検討する。

具体的には、各組織で見込まれる採用要件やスケジュール、それぞれの共同実施の可能性について調査を行った上で、共同実施に向けた条件のすり合わせを行う。

あわせて、キャリアパスの整理、人事交流の促進についても議論し、更には、一般職員の一括採用について検討を進める。

②各種研修の共同実施

令和９年度研修計画の策定に向けて、４組織による各種研修の共同実施について検討を進める。

具体的には、各組織で令和９年度に実施が見込まれる研修の一覧を作成して、共同実施に向けた条件のすり合わせを行う。

③本部機能の整理

現行の理事会と各組織における審議手続きを整理した上で、理事会で審議すべき事項を改めて整理する。また、各組織における理事への決裁権限委任状況を整理した上で、組織間での整合を図る。

（イ）情報システム等ＷＧ

①情報基盤システム・Web 公開システム

６月 24 日、９月 17 日に、検討メンバーによる打合せを開催して、研究所の基盤システムを現行の MAFFIN から整備Ｃのクラウド型システムに移行することの是非、Web 公開システムの統合について検討を行った。

その結果、基盤システムについては、MAFFIN は使用料が無料であり、令和 11 年度以降もサービスが継続されることから、当面は、MAFFIN の利用を継続することが妥当であると判断された。Web 公開システムの統合については、整備Ｃで検討を進めた結果、見送ることとされた。

あわせて、今後、機構内における M365 の連携、DX の推進についても、検討を進めることとした。

②財務会計システム

７月 31 日に、検討メンバーによる打合せを開催（※研究所、保険Ｃ別個に開催）して、研究所と保険Ｃで令和９年度に予定される財務会計システムの更新作業に向けて、両者の契約内容を突合した上で、集約に向けた検討を進めることとした。

３．今後の予定

（１）人材確保・育成等ＷＧ、本部機能・体制等ＷＧ

11 月を目途に、両 WG 合同会議を開催し、検討結果を持ち寄って、今後の進め方を議論する。

来年１月を目途に、両 WG 合同会議を開催し、採用事務の共同実施、各種研修の共同実施については、今後の実施内容を確定させる。本部機能の整理については、検討を継続する。

（２）情報システム等ＷＧ

①情報基盤システム・Web 公開システム

機構内における M365 の連携、DX の推進について、引き続き検討を進める。

②財務会計システム

10 月に打合せを開催して、両者の契約内容等について情報共有を行い、集約の方法に関する複数の案を作成する。11 月に打合せを開催して、今後の方向性を議論する。

（以上）

国立研究開発法人森林研究・整備機構業務実施体制等検討チーム設置要領

令和８年３月２５日
７森林機構第１２４４号

（趣旨）

第１条　国立研究開発法人森林研究･整備機構第６期中長期計画（以下「中長期計画」という。）の第５の「２　業務実施体制の見直し」に基づき、本部機能の強化や管理業務の集約化に向けて具体的な検討作業を行うため、業務実施体制等検討チーム（以下「検討チーム」という。）を設置する。

（構成員）

第２条　検討チームは以下の者で構成する。

一　森林総合研究所　総括審議役、審議役（林木育種センター配置）

二　森林整備センター　総括審議役（人事・労務担当）

三　森林保険センター　総括審議役

四　その他、検討チームが必要と認めた者

２　検討チームのアドバイザーとして、理事（企画・総務･森林保険担当）を充てる。

（ワーキング・グループ）

第３条　具体的な検討作業を行うため、以下の事項に関するワーキング・グループを設置することができる。

一　本部機能・体制等

二　人材確保・育成等

三　情報システム等

四　その他、中長期計画第５「２業務実施体制の見直し」に必要な事項

２　ワーキング・グループのメンバーは、検討チームの構成員のほか、森林総合研究所、林木育種センター、森林整備センター及び森林保険センターの実務担当者等を加えて構成するものとし、検討内容に応じて、随時追加することができるものとする。

３　ワーキング・グループにおいては、そのメンバーの中から責任者を選任し、検討作業を進めることとする。

４　各ワーキング・グループの検討内容は相互に関連するため、検討状況については随時共有に努めることとする。

（検討状況の報告）

第４条　検討チームは、毎年度９月末及び３月末を目途に、各ワーキング・グループの検討状況をとりまとめ、理事会に報告するものとする。ただし、早期に実施すべき事項がある場合には、随時、理事会に報告した上で、実施に必要となる機構内の手続きに移行するものとする。

２　中長期計画の３年目の年度末（令和 11 年 3 月末）には、その時点の検討成果及び検討状況等をとりまとめ、理事会へ報告するものとする。

（事務局）

第５条　検討チームの事務局は、森林総合研究所総合調整室におく。

（その他）

第６条　この要領は、令和８年４月１日から施行する。

２　この要領は、検討チームの検討作業の終了又は、第６期中長期計画の期間終了を以て廃止する。

理　事　会　資　料
令和８年１０月９日
総　　務　　部

創立記念式典等の開催及び令和８年度理事長賞受賞者の決定等について

森林研究・整備機構創立記念式典（１２１周年）及び令和８年度理事長賞受賞者による記念講演会を下記のとおり開催する。

また、令和８年度理事長賞受賞者は別紙のとおり決定した。

記

１．創立記念式典について

日　時　　令和８年１１月５日（木）　１１：００より

・理事長式辞

・理事長賞表彰

場　所　　大会議室

２．令和８年度理事長賞受賞者記念講演会

日　時　　令和８年１１月５日（木）　１３：３０より

場　所　　大会議室

※記念式典及び記念講演会は、Teams により中継

別紙

令和８年度　理事長賞表彰

番号	推薦区分	業　　績　　名	所　　属	候補者氏名
1	組織	歴史的資料の電子化と公開による120周年記念事業への貢献	企画部	資料課
2	グループ	生物多様性、気候変動、土地利用変化の統合評価に関する科学的貢献	野生動物研究領域 （生物多様性・気候変動研究拠点併任） 森林植生研究領域 （生物多様性・気候変動研究拠点併任）	大橋　春香 松井　哲哉
3	グループ	エリートツリー由来少花粉スギ品種の開発	林木育種センター育種部育種第二課 林木育種センター育種部育種第二課 林木育種センター遺伝資源部探索収集課	松下　通也 田村　明 坪村　美代子
4	個人	ソルベンシー・マージン比率の算出及び積立金の規模の妥当性の検証における巨大災害リスク評価手法の改善について	森林保険センターリスク管理室	新井紘嗣
5	グループ	林業再開に向けた森林内の放射性セシウム動態の安定化過程の解明	震災復興・放射性物質研究拠点 立地環境研究領域 木材加工・特性研究領域 きのこ・森林微生物研究領域	坂下　渉 眞中　卓也 大橋　伸太 小松　雅史
6	組織	大分県立日田林工高校との連携の取組 ～ 地域の人材育成の貢献 ～	森林整備センター	九州整備局 大分水源林整備事務所

※　Ｎｏ．２，３，５については、〇〇研究チーム又は〇〇研究グループ等の名称にて授与する。

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について

（・令和８年台風第18号に伴う災害
・令和８年台風第25号に伴う災害
・令和８年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害）

○　上記災害により、災害救助法の適用を受けた区域を対象に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を森林保険業務の委託先である道府県森林組合連合会等に発出するとともに、森林保険センターホームページにも掲載。

○　措置内容は、

①保険契約者が保険期間満了の30日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、森林保険センターが猶予措置を決定した日から６月を経過する日の属する月の最終営業日までに申出があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予する。

②猶予期間内に保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

令和８年10月１日現在

災害救助法の適用による森林保険のお手続き猶予措置状況

対象災害等	対象区域 （防災情報のページへリンク）	お手続き猶予措置 決定日 （括弧書きは最新の決定日）	お手続き猶予措置 期限	お手続き猶予措置 終了日
令和８年台風第18号に伴う災害	鹿児島県の１町	2026/9/30	2027/3/31	
令和８年台風第25号に伴う災害	千葉県の15市８町１村、 東京都の１町 神奈川県の２市	2026/9/24 （2026/10/1）	2027/3/31	
令和８年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害	愛知県の１市、 鹿児島県の１町	2026/9/7 （2026/9/9）	2027/3/31	
令和８年８月27日からの大雨に伴う災害	富山県の４市、 石川県の４市町、 福井県の６市町	2026/8/27 （2026/8/31）	2027/2/26	
令和８年７月17日から18日にかけての大雨に伴う災害	栃木県の１市	2026/8/20	2027/2/26	
令和８年８月13日からの大雨に伴う災害 及び令和８年台風第25号に伴う災害	千葉県の21市４町	2026/8/14 （2026/9/24）	2027/3/31	
令和８年熊本地震に係る災害	熊本県の10市10町1村	2026/7/29	2027/1/29	
令和８年７月滋賀県甲賀市の土砂崩れに係る災害	滋賀県の１市	2026/7/14	2027/1/29	
令和８年６月24日からの大雨に伴う災害	福岡県の３市１町、 鹿児島県の１市	2026/6/25 （2026/6/29）	2026/12/28	
令和８年岩手県大槌町の林野火災に係る災害	岩手県の１町	2026/4/24	2026/10/30	
令和８年１月21日からの大雪に係る災害	青森県の７市10町４村、 秋田県の４市２町１村、 山形県の２市６町３村、 新潟県の４市	2026/1/30 (2026/2/6)	2026/7/31	2026/8/1
令和７年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害	青森県の３市７町２村 岩手県の５市４町３村	2025/12/9	2026/6/30	2026/7/1
令和７年11月18日大分市佐賀関の大規模火災 に伴う災害	大分県の１市	2025/11/19	2026/5/29	2026/5/30
令和７年台風第22号に伴う災害	東京都の７町村	2025/10/9	2026/4/30	2026/5/1
令和７年９月12日からの大雨に伴う災害	三重県の１市	2025/9/16	2026/3/31	2026/4/1
令和７年台風第15号等に伴う災害	静岡県の９市１町	2025/9/5 （2025/9/8）	2026/3/31	2026/4/1
令和７年９月２日からの大雨	秋田県の１市１町１村	2025/9/3 （2025/9/17）	2026/3/31	2026/4/1
令和７年台風第12号に伴う災害	鹿児島県の１市	2025/8/29	2026/2/27	2026/2/28
令和７年８月20日からの大雨	秋田県の１市	2025/8/21	2026/2/27	2026/2/28
令和７年８月６日からの低気圧と前線による大雨	石川県の１市 山口県の１市 福岡県の１市 熊本県の6市5町 鹿児島県の4市	2025/8/8 （2025/9/8）	2026/2/27	2026/2/28
令和７年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波	北海道の69 市町村 青森県の９市町村 岩手県の12 市町村 宮城県の15 市町 福島県の３市町 静岡県の８市町 三重県の２市	2025/7/30	2026/1/30	2026/1/31
令和７年台風第８号に伴う災害	沖縄県の２村	2025/7/30	2026/1/30	2026/1/31
トカラ列島近海を震源とする地震	鹿児島県の１村	2025/7/10	2026/1/30	2026/1/31

令和８年１０月理事会資料
国 立 研 究 開 発 法 人
森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

今後の主な会議・行事予定について

日　付	研究	整備	保険	行　事　名	場　所　等
10月13日	○			木材関係研究調整会議	森林総合研究所（茨城県つくば市） （共催：林野庁、森林総合研究所）
10月13日～14日	○			令和８年度林業研究・技術開発推進九州ブロック会議 令和８年度九州地区特定母樹等普及促進会議	九州森林管理局（熊本市） （主催：林野庁、九州支所） （主催：九州育種場）
10月15日	○			森林講座「森林の攪乱と水循環」	多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市） （主催：森林総合研究所）
10月19日	○			令和８年度林業研究・技術開発推進四国ブロック会議	高知会館（高知市） （主催：林野庁、四国支所）
10月20日～23日		○		会計検査院実地検査	福井水源林整備事務所（福井市） （実施：会計検査院）
10月21日	○			2026年度 森林総合研究所公開講演会 「森林と多様な生き物たちのつながりとその保全」	一橋大学一橋講堂（東京都千代田区） （主催：森林総合研究所）
10月24日	○			第83回立田山森のセミナー　昆虫教室 「立田山のトンボ」	九州支所（熊本市） （主催：九州支所）
10月25日	○	○		水都おおさか森林（もり）の市2026	桜ノ宮合同庁舎、毛馬桜之宮公園（大阪市） （ブース出展：関西支所、関西育種場、近畿北陸整備局）
10月28日	○			令和８年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議 令和８年度北海道地区特定母樹等普及促進会議	アスティ45（札幌市） （主催：林野庁、北海道支所） （主催：北海道育種場）

10月29日	○			令和８年度関西地区特定母樹等普及促進会議	近畿中国森林管理局（大阪市） （主催：関西育種場）
10月30日	○			令和８年度林業研究・技術開発推進近畿・中国ブロック会議	近畿中国森林管理局（大阪市） （主催：林野庁、関西支所）
11月3日	○			令和８年度森林総合研究所四国支所一般公開	四国支所（高知市） （主催：四国支所）
11月8日～9日			○	第49回全国育樹祭2026わかやま森林・林業・環境機械展示実演会	旧南紀白浜空港跡地（和歌山県白浜町） （ブース出展：森林保険センター）
11月10日～11日	○			令和８年度林業研究・技術開発推進東北ブロック会議	東北支所（盛岡市） （主催：林野庁、東北支所） （主催：東北育種場）
11月10日～11日	○			令和８年度現地検討会 「下刈の省力化・低コスト」	新見文化交流館（岡山県新見市） （主催：近畿中国森林管理局、関西支所）
11月11日	○			森林講座「クマはなぜ人里に出没するのか？」	多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市） （主催：森林総合研究所）
11月11日～13日	○			アグリビジネス創出フェア2026	東京ビッグサイト　西４ホール（東京都江東区） （ブース出展：森林総合研究所、林木育種センター）
11月16日	○	○	○	九州地域森林研究公開講演会「森林科学で災害に挑む～フィールド調査とデータ解析の最前線～」	錦本町ひなたキャンパス（宮崎市） （主催：九州支所、九州育種場。九州整備局、宮崎大学）
11月16日～17日	○	○		令和８年度近畿北陸・中国地方業務連絡会	御宿 志んぐ荘（兵庫県たつの市） （主催：関西育種場）

主要行事（令和８年９月４日～令和８年１０月８日）

月　日	行 事 内 容	出 席 者
9月4日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
7日(月)	庁議	理事長
9日(水)	【研】知財セミナー	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事(WEB)、監事
11日(金)	【研】環境研究機関連絡会	理事長
16日(水)	【研】ダイバーシティ推進セミナー	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、森林業務担当理事(WEB)、法令遵守担当理事
25日(金)	【研・整】環境委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事
28日(月)	【研】林業研究・技術開発推進関東・中部ブロック会議	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
29日(火)～30日(水)	【保】森林保険センター現地監査(滋賀)	監事
30日(水)	【育】特定母樹等普及促進会議(茨城県那珂市及び常陸太田市)	育種事業・森林バイオ担当理事
10月1日(木)	【研】入所式	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
〃	【育】入所式	育種事業・森林バイオ担当理事
〃	【研】内定式	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
5日(月)	庁議	理事長
〃	【研】「令和8年度パリ協定」第2回検討委員会	理事長
6日(火)	【研】ウッドチェンジ協議会	企画・総務・森林保険担当理事

※【研】:森林総合研究所、【育】:林木育種センター、【整】:森林整備センター、【保】:森林保険センター、【共】:共通の行事の略

森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

○ 前月以降公開済のプレスリリース

	広報タイトル	機関名	概要（ポイント）	URL
1	乾湿繰り返しによる土壌CO2放出増大の原因を解明 ー金属と有機物の結合が鍵、気候変動下の炭素循環予測の精緻化へー	新潟大学 九州大学 岡山大学 森林総合研究所 東北大学 アジア大気汚染研究センターー 北海道大学	・乾湿繰り返しが土壌CO2放出に及ぼす影響を北海道の表層土壌と埋没腐植層で検証。 ・特に埋没腐植層で、乾湿繰り返しによるCO2放出増大が微生物バイオマス量を凌駕。 ・重要な土壌炭素安定化機構である活性金属―有機物錯体成分の破壊が土壌CO2放出の増大にも寄与する可能性。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260911/index.html
2	ドローンが捉えた国内最大級の雪崩の堆積厚の分布 ー巨大な雪崩の痕跡から、将来の雪崩災害に備えるー	森林総合研究所 防災科学技術研究所 新潟大学	・ドローン測量を活用して巨大雪崩の堆積厚の空間分布と縦断分布を解析。 ・当該の雪崩は、最大堆積厚12m超、国内2番目の規模と判明。 ・得られた堆積特性の知見は、雪崩危険区域の評価などの防災対策への活用が期待。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260925/index.html

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	機関名	開催場所・主催等	開催日
1	FORESTRISE 2026（第5回次世代森林産業展）	森林総合研究所	開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明） 主催：産経新聞社	9月16日（水）～18日（金）